

日 時：2011年4月11日(月) 16:30～19:30

会 場：ヴィアーレ大阪

参加者：米山奨学生、クラブカウンセラー、米山委員長、地区委員、米山学友会

今年度の米山奨学生として選考試験に合格した学生を対象に、最初の行事であるオリエンテーションが開催されました。まず始めに、東日本大震災の被災者への黙祷が捧げられ、有竹正巳地区米山奨学委員の司会で、岡部泰鑑がバナーエレクトの開会の挨拶を頂きました。

続いて、米山奨学制度について、磯田郁子地区米山奨学委員長より詳しく説明がありました。米山奨学事業はロータリーの誇るべき国際奉仕活動であり、その事業の要は“カウンセラー”です。奨学生の巣立った後も、カウンセラーには学友との絆を大切に続けていただきたい。学友からの便りや、社会人としてどんな人生を歩んでいるかなど、彼らの生活・活躍の様子をクラブ例会で報告してくださいと話されました。

次に、各テーブルにおいて、31名の奨学生と世話クラブのカウンセラー、米山委員長がお互いに自己紹介をし、カウンセラー・奨学生ハンドブックをもとに田中真人次年度米山奨学委員会副委員長より、奨学生の心得と制度の主旨説明、奨学生の役割、年間スケジュール等、奨学制度の詳細を分かりやすくパワーポイントを用いて説明が行われました。そして質疑応答の後、奨学生から「確約書」の提出があり、正式に「米山奨学生」となった

奨学生の喜びが緊張の中にも感じられました。

これで、第一部のオリエンテーションが終わり、会場を隣室に移して、岡部泰鑑がバナーエレクトの乾杯のもと、奨学生、世話クラブカウンセラー、米山委員長、地区米山奨学委員を交えての懇親会が和やかな雰囲気が始まりました。ユーモアたっぷりの有竹正巳委員の司会で、奨学生全員が「2分間スピーチ」で自己紹介。ロータリー奨学生に選ばれた喜び、ロータリー奨学制度への感謝、期待に応えたいという意気込み、将来の夢と希望を上手な日本語で話されました。日本語の途切れた合間は、かえって新鮮に感じられ、出席者の好感を呼んだようです。そこからは緊張もほぐれ、お互いに会話が弾んでいました。

林小微関西米山学友会前会長より、米山学友会活動は、学友(元米山奨学生)と奨学生の皆様がロータリアンとの交流を深め、ロータリーの国際交流・親善および平和の創造と維持に貢献することを目的としますと話され、締め括りには武島秀吉次年度地区米山奨学委員長から「米山奨学生に選ばれた誇りを持って、ロータリークラブと良い交流を心がけること」との閉会の挨拶があり、オリエンテーションは無事終了しました。

